

IV

学生を中心とした活動

社会福祉士・精神保健福祉士

国家試験に向けての取り組み

社会福祉学部7期生は、2008年1月26日27日に精神保健福祉士・社会福祉士の国家試験に臨みました。国家試験勉強への先輩方の頑張りが、今の社会福祉学部の伝統となっています。この報告では、7期生を代表して私達が行った受験勉強の方法について紹介します。

プロローグ～4回生への不安の中で～

2008年2月22日から私達の国家試験への取り組みはスタートしました。まずは、先輩方の体験を国家試験ガイダンスで聞きました。先輩方の持っている分厚い必携やワークを見て、先輩方が一年間掛けて頑張ってきた成果を感じると同時に、私達も先輩方のようにになれるのか？そんな不安が渦巻き始めました。

～いよいよ4回生・自分の実力を知る～

4月になり、4回生として最後の大学生活1年間でスタートしました。しかし、何から始めれば良いのか分からず、時間が過ぎていっているような気がしました。勉強を始めるために、まずは自分の実力を知ることからです。そこで、過去問題に手を出してみました。案の定、全く出来ませんでした。しかし、全く出来ないことが私のモチベーションとなり、時間のある間には図書館に行っては教科書を読み、共通科目を中心に知識の土台を作ることと専念してきました。また、精神保健福祉士の実習が間近になり、精神保健福祉士の専門科目と実習への事前学習も兼ねて、7月・8月は精神保健福祉士の勉強を始めました。

～時間と自分との戦い～

夏の実習後には、4回生の空気が違っていました。就職・卒論を進めようと頑張っている人・国家試験の勉強を本格的に始めた人など様々でした。私も実習が終わり高知に帰ってから焦っていました。秋を過ぎる頃、卒業論文・国家試験・就職活動・いろいろなことが私達に押し掛かって来ました。とにかく、1日が24時間じゃ足りない。時間を無駄にしないよう、上手く時間配分をして取り組みました。勉強が辛くなったときは、友達と一緒に勉強することで、集中が切れそうときや心が挫けてしまいそうときお互いに励ましあって取り組んできました。勉強方法は、過去問題を解きながら間違ったところを確認し、必携やワークに書き込む作業を続けていました。

～最後の追い込み～

12月に卒業論文の執筆が終わると同時に、国家試験に向けての最後の追い込みが始まりました。年末年始実家に帰らないで勉強している人もいました。時間も無駄にしないように、お昼のご飯の時間にもゼミ内で問題を出し合いながら取り組んでいる人もいました。7期生の合宿は、1月7日から9日まで行ないました。この合宿で生活リズムを朝方に戻すと共に、受験勉強方法の最終調整を行いました。私の場合は、より丁寧に回答の直しを行えるようにしました。一人ひとり目標を立てた合宿は、とても有意義なものとなりました。

学生を中心とした活動

～絶対負けたくない。新大阪へ～

最後の受験勉強で大切なことは、新しい問題に慣れ、試験中の精神状態を上手く保つことです。本試験の問題は、見たことのない問題が出題されます。そんなときに、小さいところで躓くよりもきちんと得点することが重要です。1月に入ってから新しい模擬問題や練習問題を解いて最後のチェックを行いました。生活リズムも試験と同じように行動して毎日が試験のような緊張感を保っていました。

私達は、一丸となって勉強に取り組むようになりました。皆不安な気持ちは同じだからこそ、皆で一緒に合格通知を受け取りたいと思いました。そして試験が終わりました。

最後になりましたが、国家試験対策等の授業や質問に丁寧に答えて応援してくださった先生方・夜遅くまで勉強に付き合ってくれた守衛さん・応援してくれた皆様に心から感謝しています。本当にありがとうございました!!在校生の皆さん頑張ってください!!



付記

なお、本学第7期生の合格率は、社会福祉士 **75.7%** (全国平均 **30.6%**)、[学校別合格率](#)で**第10位**にランクイン (10名以上受験した福祉系大学等 196校中)、精神保健福祉士合格率 **91.3%** (全国平均 **60.4%**)、[学校別合格率](#)で**第12位**にランクイン (10名以上受験した福祉系大学等 107校中) でした。

平成 20 年 3 月 31 日

グローバルクラブ

私たちグローバルクラブは、「国際交流」、「地域交流」、「ボランティア」を三本柱として活動しています。その中でも大部分を占めているのが、日韓学生合同よさこいチーム **Japarean** としての夏のよさこい祭りに参加したことです。その他にも三里まつりや施設などでのよさこい披露をさせていただきました。

今年はスタッフが3人という何とも頼りないスタートだったのですが、新入生12人が加わり、また先輩のサポートもあり、いよいよよさこい本祭りに向けての準備が進められてきました。何分よさこいチームの代表など経験もしたことの無い大役に就き緊張の連続で逃げ出したくなることもありましたが、一緒にチームを作っていくスタッフ、**Japarean** を支援してくださっている方々、**Japarean** で踊ることを楽しみにしている踊り子のことを思うと逃げ出すわけにはいきませんでした。今こうして振り返ってみると私はさまざまな人たちの支えに助けられていたのだと思います。本番のよさこい祭りでもみんなが笑顔で踊っている姿を見た瞬間、今までの苦勞が報われたと思いました。

さて、日韓学生合同よさこいチームと銘打っているわけですから何よりも韓国学生の存在は欠かせません。今年は8名の韓国学生が参加してくれました。約2週間という短い期間ですが、衣食住を共にしとても濃厚な日々を過ごせました。また韓国以外にも中国からの留学生も参加し、グローバルなチームだったと思います。

この一年、私は多くのことを考えさせられ、学びました。チーム作りというのは生半可な気持ちでは良いものに仕上がりにません。互に自身を高め合い、支え合い、向き合っていくことで磨かれ良いものに成長するのだと思います。

グローバルクラブでは多くの人に出会い、支えられてきました。今後の活動に変化もあるでしょうが、今まで先輩方が築かれてきた伝統と歴史を引き継ぎ、また新たに自分たちで創り上げ、次へと繋げていきたいと思っています。今後ともグローバルクラブをよろしくお願ひします。



♪ 太鼓部 ♪

私たち、太鼓部は現在、4回生8人、3回生5人、2回生8人の21人で活動しています。練習は毎週2回池キャンパスの体育館で行っています。

女子大の学祭や卒業式で演奏したり、施設での訪問演奏を行っています。施設での演奏では、福祉施設での演奏が多いのですが、職員の方もとても親切で優しく、そして施設の利用者の方もとても喜んでくれるので、演奏する私たちもとても嬉しくなります。実際に舞台にあがってもらって一緒に太鼓を叩いたことも思い出です！！

また、地域との交流も行っており、毎年池キャンパスで行われる、三里祭りに参加させてもらい、地域の方の協力もあり毎年良い演奏が出来ていると思います。

3年ほど前からは、地域の小学生に太鼓の指導を行うようになりました。今までは自分たちが先輩達から教えられる立場であったけれど、自分たちが人に教える立場になるととても大変で難しく感じました。小学生はとてもパワーがあり、毎回とても疲れるけれど本当に楽しかったです。さまざまな場での演奏だけではなく、このように自分たちが誰かに太鼓を指導することで私たち自身も成長するきっかけになりました。

そして、私たちも半年に一回程、太鼓部のOGの方に太鼓の指導をしてもらい、太鼓の技術の向上に努めています。

これからも、地域の方との交流を更に深め、良い演奏が出来るように部員全員、顧問の先生みんなで頑張っていきたいと思います。



❀池手話サークル❀

私たちは三回生15人、二回生4人の計19人で活動しています。

活動日は毎週火曜日の5限終了後で、社会福祉学部棟の一室で楽しくわきあいあいと手話を学んでいます。日常に使える手話から、ちょっとおもしろい手話、たまに少し難しい手話も勉強しますが、みんなで楽しく勉強するので、すぐに覚えられるはずです！

その日頃勉強の成果を発揮するのが、秋に行われる学祭です。

学祭では‘手話コーラス’の発表を行います。文字通り、手話で歌を歌います。去年の学祭では、DREAM COME TUREの「Love Love Love」と、フィンガー5の「学園天国」を発表し、とてもいい思い出になりました。手話コーラスはとっても楽しいので、是非体験してほしいです！

ほかの活動としては、ボランティアとして手話講師をしたり、手話サークルの青年部との交流会への参加などがあります。

去年の青年部との交流会では、もちつき大会やピザ焼き体験、バーベキューなどで自然に触れ合いながら美味しいものを食べたり、スポーツ大会で汗を流したりと、様々な体験ができました。

青年部の人たちも、ユーモアに富んだ人たちばかりで、いつも笑わせてくれ、すぐに仲良くなれます。

手話は難しそう... とゆうイメージがあるかもしれませんが、とんでもない！手話は楽しいものです。

ぜひ一緒に手話を勉強しましょう☆

NPO法人「飛んでけ! 車いすの会」高知女子大学サークル いけとべ!

こんにちは、いけとべ!です。私たちは、日本で使われなくなった車いすを集め、それを修理し、海外旅行をする旅行者の手荷物として、発展途上国の病院や施設などに直接送り届ける活動をしています。いけとべ!のこれまでの活動状況は、提供していただいた車いす17台、歩行器1台、女子大から飛び立った車いす6台(ガーナ5台、カンボジア1台)となっています。(2008年2月現在)

私は昨年11月、NPO法人「飛んでけ! 車いす」の会主催の『タイスタディーツアー』に参加しました。実際に自分の足で東南アジアのタイに行き、現地の障害のある方々に車いすを渡したときの彼らの笑顔は、今でも忘れられません。また印象的だった出来事として、車いすの男性1人と女性3人(全員日本人)でデパートへ行ったときのこと忘れられません。

ホテルを出発してデパート付近に到着した私たちは、途方に暮れていました。デパートに入るためには40段ほどの階段を上がらなければならなかったのです。周りにはスロープのようなものもないし、その階段を通らなければ右にも左にも動けないという状態のときでした。車いすの男性が、近くにいたタイ人の男性に「手伝ってくれませんか。」と日本語で声をかけたのです。すると、タイ人の彼は私たちの困った様子を見て、階段を上るのを手伝ってくれました。本当に嬉しかったです。“伝えたい”という気持ちさえあれば、思いは必ず通じるということが実感できた貴重な体験だったと思います。

『学生時代だからこそできること』とは、何でしょうか。私は、「これ、気になるかも。」と少しでも思うことがあったら、とにかく行動に移してみることだと思います。あれこれ考える前に行動して、たくさんの人と出会って、たくさんの方の考え方に影響されて、それから考えてみても遅くないと思います。私はそうやってこの活動に参加するようになりました。高知女子大学はそんな学生を応援してくれる人が集まる、そんなあたたかい場所だと思いました。



ハモ☆イケ!!!

ハモ☆イケとは、高知医療センターの「ハーモニーこうち」でボランティアをしているイケてるイケキャンパスの女の子が和気あいあいと活動をしているサークルです！ 2007年11月2日に発足した、できたてホヤホヤのサークルですが、部員は、社福2回生22名、社福3回生4名の計26名と、けっこう大規模なサークルです(●´ 3`)★★★

活動時間は、主に授業の空き時間や放課後です。去年の活動報告としては、2回生(今の3回生)は空き時間もあまりなく、行けるときにボランティアに行くといった感じでした。1回生(今の2回生)は、22人を8つのグループ(なし・小夏・すいか・さくらんぼ・もも・りんご・いちご・ぶどう)に分け、

月(10:30~11:30)…すいかさん、ぶどうさん

水(9:30~)…なしさん、りんごさん (12:30~14:00)…小夏さん

(13:30~15:00)…さくらんぼさん (17:45~)…いちごさん

金(10:30~11:30)…ももさん、いちごさん、りんごさん

(14:30~16:00)…さくらんぼさん

というように、シフトを作って決まった時間にボランティアに行きました。

ボランティア内容は、

* 入院患者さんの案内(月・火・木 13:00~14:00)

* 図書サービス(水・木 13:30~15:30)

* すこやかフロア(小児入院フロア)の見守り(毎日 お昼を中心に随時)など

その他にも生け花や花づくりなどもあります。

ハーモニーこうちのボランティアさんたちと一緒に活動していますが、皆さんとても親切で、私たち女子大生がボランティアに行くと、「まァ♪天使の皆さんがきてくれたわ♪」と、とても可愛がってくれます★！しかし、年々ボランティアさんの人数も減ってきており、月・火・木にある入院患者さんの案内が週に1回しかできなくなっているなど、たくさんの問題も抱えています。ハモ☆イケを立ち上げたきっかけも、「社会福祉学部のサークルとして、ハーモニーこうちを盛り上げていってくれませんか？」というボランティアさんの声でした。

お隣さん同士、助け合いながら患者さんやご家族の方たちを支えていこうじゃないか！そんな決意のもと、立ち上げたサークルです。このサークルが代々、社会福祉学部の後輩たちに引き継がれていけばいいなあと思います(oU_Uo)

ハモ☆イケ部長

かんきもん

こんにちは！かんきもんです。私たちかんきもんは、ボランティアサークルとして様々な活動をしています。“かんきもん”は土佐弁で元気者という意味です。私たちはボランティアなどの福祉活動により地域を元気にすることや、誰もが幸せに暮らしていける地域づくりを目指して活動しています。昨年は池キャンパスがある三里地区での清掃活動（三里クリーンアップ作戦）や、高知福祉機器展や三里祭りへの出展。新入生歓迎会等の交流会、田中きよむ先生の講演などを行いました。

かんきもん内のグループ活動としては子供たちの悩みにこたえる子供人権ミニレターや、五台山小学校での守るんジャーの活動があります。守るんジャーはニュースにも取り上げられ地域の方々にも知っていただけることができました。

また、かんきもん主催の活動以外にも、メンバー個々人が自分の興味あるボランティアに参加しています。単発ボランティアとしては、春野で行われる障害者スポーツ大会、車いすバスケットボール大会、福祉機器展等があります。

そして、勉強会として、地域福祉に携わる外部講師からお話を聞いたり、合同活動報告会を開き、年に2度、総メンバーで活動報告を行ったりしています。

かんきもんはこれからもボランティアを通じて地域に根ざした活動をしていきたいと思えます。



援農隊

初めまして!援農隊サークルです。まだ結成して間もないですが、3回生5人、2回生4人、1回生11人、計20人で活動しています。援農隊を結成したきっかけは、昨年11月に「ゆずとり援農隊」参加したことです。これは、高知県が行っているグリーンツーリズムの一環で、安芸市の山間地域にゆずの収穫の手伝いに行き、その手伝いを通して、地域の人々との交流を深めるといった内容です。この体験でその地域の人々とこれからもよい関係を続けていきたいと強く思ったため、結成に至りました。

今までしてきた活動は、ゆずとり援農隊の他に、高知県立歴史民族資料館での郷土料理を食すイベントの配膳や特産物の販売などの手伝い、大豊町のゆとりすとパークで行われたロックイベントのスタッフとしての参加などがあります。どれも、地域活性化を目的としたイベントであり、「過疎や少子化で深刻な問題を抱えている地域に若い力を!!」というコンセプトを持ち、私たちは活動に参加してきました。

援農隊の活動は定期的なものではありませんが、県庁の職員や市町村の職員等からの参加依頼や、私たちの興味や関心があれば活動していきます。

今は、高知県内の活動にとどまっていますが、今後は県外での活動や、他県の学生で結成されている援農サークルとの交流も行っていきたいと考えています。

